馬東小だより

令和3年 9月 1 日 練馬区立練馬東小学校 髙野 正之 5 号

認め、励まし、支える

校長 髙野 正之

「子供の話をよく聞いてあげる」ということは、 とても大切なことで、多くの方が意識して実践され ていることと思います。

しかし、本当の意味で、私たち大人は、話を聞い てあげられているでしょうか。この問いに対して、 立命館大学の宮口幸治教授は、著作『どうしても頑 張れない人たち』で、次のように述べています。

「子供の話を聞いてあげているつもりでも、途中 で割り込んで自分の意見を話したり、説教したり、 叱ったりと、自分の考えを子供に押し付けてしまう ケースが多いのです。」

気持ちを分かってほしいと思う子供に、きちんと 向き合えていたのだろうか、私は、自身の経験を振 り返り、反省する場面がいくつも浮かびました。

また、宮口教授は、子供が安心して力を発揮する ためには、自己評価を向上させ、自信を付けさせる ことが欠かせないと指摘しています。

「自信ややる気につなげようとするのであれば、 周囲からの適切な承認の機会も用意しなければいけ ません。成し遂げても誰も評価してくれないと受け 止められれば逆効果になる危険もあります。」

この夏、オリンピック・パラリンピックに参加し た多くのアスリートが、周囲の方々に感謝の気持ち を述べていました。アスリート自身の懸命な努力は もちろんですが、その頑張りを認め、励まし、支え る存在がいることも忘れてはいけません。

自分を信じ、力を発揮していくためには、周囲が 同じ目的をもって関わっていくことが必要です。子 供が存分に力を発揮できるよう、保護者、地域の皆 様と同じ方向を見ながら、進んでまいりたいと思い ます。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。

9月の行事予定

○数字は学年を表します。

	1		
日	曜日	モジュール	予 定
9/1	水		始業式 給食始 個別登校
2	木		児童集会 計測⑤
3	金		計測④ ↓
4	土		
5	目		
6	月		全校朝会 安全指導 計測② 集団登校始
7	火	\circ	計測③ 都学力調査④⑤⑥
8	水		計測①
9	木		計測⑥⑦
10	金	0	
11	土		土曜授業 租税教室⑥ 区・一斉防災訓練
12	日		
13	月		全校朝会
14	火		
15	水		
16	木		委員会活動
17	金	\circ	午前授業全
18	土		
19	日		
20	月		敬老の日
21	火		全校朝会
22	水		
23	木		秋分の日
24	金	0	金曜日5時間始① 集団登校終
25	土		力
26	日		カ h
27	月		全校朝会 月曜日6時間始④ し し し し し し し し し し し し し し し し し し し
28	火	0	T
29	水		車椅子体験④
30	木		音楽朝会

◇ 1学期の生活を振り返って ◇

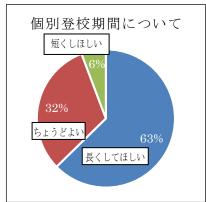
1 学期は、本校にとって近年では初の試みとなる、個別登校期間を設けました。期間中は、多くの保護者の方に、子供たちの登校の様子を見守っていただきました。誠にありがとうございました。 学期末に、タブレットを活用して全校児童に、学校生活についての振り返りのアンケートを取りま

した。アンケートの結果を基に、今後の教育活動について生かしていきます。

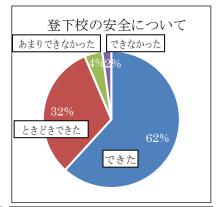
毎朝の挨拶についてできなかった 26% どきどき はい 72%

自分からすすんで挨拶ができる子が多いのは、本校の素晴らしい特徴の一つです。「はい」の割合を高め、子供たちが、自覚と自信をもてるようにします。

に整理しました。



自主的な行動に対する意識の 高まりが感じられます。子供た ちの実態に合わせ、今後の登校 方法や期間について検討して いきます。



自分の身を自分で守る意識について、避難訓練をはじめ、 様々な場面で指導しています。 「できた」が100%となるよう、指導を継続していきます。

◇ 研究について② ◇

7月28日に、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の導入 に向けた職員の話し合いを行いました。今回は、学校と地域、保護者 が一体となって取り組める授業への参画について意見交換をしました。 各学年の授業や教育活動の中で、地域の方々や保護者に、サポータ ーやゲストティーチャーとして一緒に取り組める活動内容を考え、表

今後、感染状況を見ながら、サポーターを募集していきたいと思います。



◇ 区·一斉防災訓練 ◇

練馬区教育委員会では、児童・生徒の安全確保に万全を期すため、9月11日(土)に、区内小中学校で区・一斉防災訓練を実施します。

感染症予防の観点から、緊急時の児童引き渡し訓練は実施せず、各教室から、下校コースの色別 に下校します。

★☆バケツ稲の水やり(5年)☆★

5年の総合的な学習の時間では、一人一人バケツを使って稲を育てています。1学期には、米の育て方や種類、品種などを、タブレットや本で調べてまとめました。

夏季休業中には、バケツ稲の水やりを、学年で役割分担して行いました。暑い中での作業でしたが、一人一人が責任をもち、水の量を考えながら懸命に活動しました。

